

奈良経済産業協会

NARA ECONOMIC AND INDUSTRIAL ASSOCIATION

NEWS

平成30年11月 第37号



提 言 『モノづくりと変化対応力』



大和ハウス工業株式会社奈良工場

工場長 尾崎 学 氏

奈良経済産業協会並びに会員企業の皆様におかれましては、日頃より大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

この度の地震、豪雨及び台風などの自然災害により、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本年度は大阪北部地震や西日本豪雨災害、酷暑、台風21号など自然の驚異に人間の非力さと今までの常識が通じない時代となってきた事を痛感しています。

弊社は1955年「建築の工業化」を理念に創業し、創業商品「パイプハウス」やプレハブ住宅の原点「ミゼットハウス」などを開発。以来、戸建住宅をコア事業に、賃貸住宅、分譲マンション、商業施設、事業施設など幅広い事業領域で、世の中に必要とされるものを提供することに努めてまいりました。

奈良工場は1965年に操業し53年が経過しました。工場建屋の老朽化、労働環境改善、BCPの観点から建屋更新を2012年以降、順次着手しています。住宅などの部材を生産する工場棟を4棟から3棟に集約し、2017年に建築系鉄骨を生産していた旧堺工場の機能を移転しました。また、単に建屋の更新だけではなく、生産ラインも大幅に見直しました。生産改善による効率化はもちろんですが、従来の少品種大量生産の時代から多品種少量生産へと世の中のニーズやお客様のニーズが変化し、それとともにモノづくりも変化させる必要があります。さらに、環境配慮型工場として工場エネルギー管理システムも導入しました。環境に配慮したモノづくりはもちろんですが、環境に配慮した建物というだけでなく、場内環境を管理することで、そこで働く人の労働環境にも先手を打て

るシステムです。

リーマン危機から10年が経過しました。企業の2割が稼ぎ頭を変えたとの記事もありますが、当社の事業の中でも売り上げ比率が大きく変化してきています。コア事業は戸建住宅ではありますが、物流センターなどの事業施設などが売り上げを伸ばしています。インターネットの普及によりネット通販が大きく成長し、それにともない宅配量の増加やトラック乗務員の長時間労働が社会問題化するなど、物流業界を取り巻く環境が大きく変わってきています。創業者の「世の中の役に立つ事業を行うこと」という理念のとおり、時代の変化による社会要求の変化が、私たちの事業領域の変化だと言えるでしょう。

モノづくりに携わるものは、造ったモノをお客様のもとへ届ける使命があります。「物流を制するもの生産（ビジネス）を制す」との言葉もありますが、労働人口減少の中、ドライバー不足も顕著になってきています。物流センター機能により緩和されてきている部分もありますが、生産改革に対して物流改革はまだ遅れています。生産は機械化、自動化が進められる一方、輸送の自動化はまだ先のことでしょう。物流から「ロジスティクス」へ、モノづくり側が思考を切り替え、もう一度サプライチェーンプロセスを見直すことで、ドライバー不足解消や、輸送効率向上、モノづくりの生産性向上や働き方の見直しが推し進められるのではないのでしょうか。また、それらはひとつの企業内にとどまらず、同業種や異業種も巻き込んだ改革が今後さらに必要不可欠になると考えています。そのようななか、世の中のニーズを的確にとらえ柔軟な発想で変化に対応していく事、つまり先を見据え、「世の中の役に立つ事業を行うこと」がますます求められると考えています。

経営実践セミナー

人材育成委員会主催（H 30.9.7）

会員相互の交流と今後の企業経営に資するべく、恒例の「経営実践セミナー」を開催致しました。

今回は、活力ある職場作りに取り組まれている(株)栄水化学（兵庫県尼崎市）松本社長様のご講演と、会員企業2社から事例のご紹介を頂きました。

<講演>

(株)栄水化学

代表取締役社長 松本久晃 氏

テーマ『景気に左右されない、強い企業づくりへの挑戦』

当社は、建物クリーニング・施設衛生管理・家事支援等の清掃事業を主に行っている。

入社してみて、どういう会社にしていくか悩み、問題は内にあると考え、安心して働ける職場・誇りのある仕事へ向かうべき方向を示そうと考えた。

働き易い職場作りとして、子連れ出勤OKや、急な休みにも対応すべく多能工化を進めている。

制度は作るだけでなく、使い易い風土が大切だと考えており、毎年の面談についても経営陣がカウンセリング資格を持って、従業員の話を聞いて相談に応じることで、相互の理解が深まっている。

正社員の採用は新卒採用のみで行っているが、親からの反対で内定辞退も多い。そのため内定後、家庭訪問し、会社の考えをご両親に説明している。

また採用目的でないが、6ヶ月間の長期実践型インターンシップ（無休）を受け入れ、会社がやりたいイノベーションを起こす事業やテストマーケティング的な活動等を、学生に課題として取り組んでもらっている。6ヶ月で即戦力として取り組んでもらえるよう、どの様に育てるかを考えているが、それが新卒採用の入社後にも活かしている。

今後は、人手不足への対応がカギとなるので、働き易い会社として、財務諸表などの情報を公開して共有し、一人ひとりが自分で考えて行動でき会社作りに取り組んでいきたい。



(株)栄水化学
代表取締役社長
松本久晃 氏



<取組事例①>

東洋アルミニウム(株)新庄製造所の篠原吉之所長様・黒井秀一課長様に事例のご紹介を頂きました。

当社はアルミニウムの箔・ペースト・粉等を製造販売しており、新庄製造所はアルミペースト専門工場として世界最大規模で、原料から製品まで一貫生産を行っている。



東洋アルミニウム(株)
新庄製造所 所長
篠原吉之 氏



東洋アルミニウム(株)
技術課長
黒井秀一 氏

用途として、アルミ箔では食品・薬品の包装材・パッケージ・電子部品・日用品や、パウダー・ペーストでは自動車用塗料や化粧品・印刷インキ等、多岐に亘り、中国・アメリカ・インドに拠点を設け、全世界に供給している。加工においては、粉碎・分級技術や機能性・意匠性の付与等が大変重要で、この技術はマツダ車の独特の「赤」として高い評価を得ている。

新庄製造所は当社のマザーファクトリとして、奈良から世界へ発信し、「未来を創る、私が創る。」を合言葉に今後も一層取り組んでいきたい。

<取組事例②>

(株)中村の吉田照明社長様に事例のご紹介を頂きました。

当社は、各種割箸をはじめ、楊枝・木製品などの日用雑貨等を開発・販売しているが、来年70周年を迎え、次の100周年に向けて取り組んでいる。

特に、直近は高機能タオルの製造販売に注力している。

魔法の撚糸と言われ、カンブリヤ宮殿でも紹介された浅野撚糸(株)様の糸と出会って惚れ込んだ。

特殊な機能を持つ糸を、特殊な製法を共同開発してベトナムで製造している。今までにない機能として、吸水性・速乾性・風合い・軽さを実現し、使ってもらえると実感頂けると確信している。

この特徴を理解頂いて記念品に活用頂く事例や、会員企業と連携を行うなど、「使った人を笑顔に」するべく、ブランド向上を進めていきたい。



(株)中村
取締役社長
吉田照明 氏

セミナー修了後に、交流懇親会を設けて、参加者の相互の交流を深められ有意義な時間となった。

活力創造、 南都銀行。

私たちは、日本人の心の故郷・奈良に

ふるさと

本拠を構え、地域の皆さまとともに

あゆんでまいりました。

これからも地域の活力ある未来を創造し、

皆さまとともに成長を続けてまいります。



活力創造銀行
南都銀行

本店／奈良市橋本町16
<http://www.nantobank.co.jp>

ド イ ツ 視 察 研 修

総務委員会主催 (H30.9.29-10.4)

今般9月29日(土)～10月4日(木)にかけて、ドイツ産業視察を実施し、ミュンヘン・シュットガルト・フランクフルト等の都市を視察しました。

視察前には、台風21号の影響で関西国際空港が甚大な被害を受け、出発が心配されましたが、当初の予定通り、無事に出発することができました。

【ドイツの概略(※2017年値)】

- ・人口：8,280万人(推定値)
- ・面積：357,021km²(日本の約95%)
- ・名目GDP：約3兆,6848億USドル
- ・一人当たり名目GDP：約44,550USドル

ドイツは欧州連合では最大の人口を有し、名目GDPで世界第4位かつ購買力平価で世界第5位である。世界第3位の輸出国かつ輸入国である。

日本との貿易では、輸出額は約200億ドルで相手国としては4位であり、また日本からの輸入額は約400億ドルで相手国として2位である。日本からの投資案件としては、2016年には458件で約3億5,000万ドルにも達している。投資した企業の中で、今後直近の事業の方向性としては、拡大していくが半数を超えており、現状維持を含めて、進出した企業の97%以上が事業継続・拡大を考えているなど、投資先として有力と認識していることが伺える。2017年の経済状況は、GDP成長率は第1・2四半期とも2%台のプラスで通年予測も上方修正し、また輸出入も2桁の伸びなど、経済状況は好調であり、下期も需要が続くと予想されている。

1. メルセデス・ベンツ

ジンデルフィンゲン自動車工場

シュットガルト近郊の街、ジンデルフィンゲン工場の歴史は1915年に飛行機エンジンの製造と共に始まり、同工場は世界で最大のダイムラー社メルセデス・ベンツ乗用車製造工場であり、職業訓練生を含む35,000人もの労働者が働いています。

同社の基幹工場であり、メルセデス・ベンツC・E・Sクラスや最高級車種のマイバッハを生産し、同社のグローバルな製造ネットワークの中においても、同工場は上級・上質なレベルの乗用車製造の研究教育機関の役割を担っています。

同工場の敷地面積は約1,89万m²(約57万坪)で東京ドーム約39個分と広大な敷地であります。

大きな建屋には、ショールーム、レストラン、新車引渡場所(カスタマーセンター)を併設し、ショールームには、最高級のマイバッハの新しいコンセプトカーvision 6(未発売)や、他の高級車も多数展示されており、一同感動でありました。

販売は非常に好調な様で、カスタマーセンターには毎日250台もの引取りがあるとのことでした。

厳しいセキュリティチェックを受けて入館し、映像での解説後、工場は広大であるため見学専用バスに乗って各拠点を見学して回りました。車台の組立のアッセンブリーラインに加え、ボディ部の組立工程では多数のロボットが黙々と動いており、人は殆ど見かけることはありませんでした。

見学時のラインにはE・Sクラスや日本で見かけないマイバッハが流れていました。特にマイバッハは防弾仕様の特別車が完成したところでした。

ボディと塗装の工程は3交代制で、アッセンブリーの工程は2交代制とのことで、ヨーロッパ・ドイツの働き方ということで深夜勤務が行われていることに少し驚きました。日本の車製造ラインと比べると、従業員はゆったり仕事をしているように感じました。具体的には、各グループで好きな音楽をかけていたり、誰もがヘルメットや帽子をかぶらずに作業していました。また、我々来客者に挨拶もなく、自身の仕事のみに集中しているようで、働く様子は特にせこせこした印象はありませんでした。ただ、工場内は整理され綺麗に維持されていましたが、一旦屋外へ出たらタバコの吸い殻があちらこちらに捨てられているのが目立ち、ギャップにも驚きました。週末は休みですが、ラインの製造が遅れると遅れたチームは土曜に出てきて働かなければいけないそうです。

今回の視察の間、街中を走行する車を見ると、ベンツ・BMW・アウディ・VWばかりで、日本車を見かけることはありませんでした。ドイツ国民の自国ブランドへの愛着を強く感じました。



ド イ ツ 視 察 研 修

2. BASF

同社はドイツに本社を置く、世界的総合化学企業で、同社シュルツ副社長より同社の概況、インダストリー 4.0 の取組についてご説明頂きました。

1865 年に創立され、現在 80 カ国以上にグループ会社及び約 11 万 5 千人の従業員を擁しておられ、「持続可能な将来のために化学でいい関係をつくる」を企業目的に掲げ、事業展開を行われています。

製品ポートフォリオは、化学品、高性能品、機能性材料、農業関連品、石油、ガスと幅広く、「交通」、「建設」、「健康・栄養」、「エレクトロニクス」、「農業」、「エネルギー資源」を始め、世界中の全産業の顧客へソリューションを提供されています。

日本との関わりも長く、1888 年に初めて日本市場に進出して以降、化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品 4 分野で事業展開を図り、日本国内に 24 の生産拠点、4 研究所を設け、国内外で活躍される日本企業をサポートされています。

同社は全世界で、年商約 9 兆円、税前利益 1.5 兆円（利益率 15.9%）、欧州地域で全体の約 60% の生産・販売を行っておられます。

「インダストリー 4.0」は、18 世紀の蒸気機関車などによる第一次産業革命以降、4 番目の産業革命に匹敵する改革だという意味を込めて第四次産業革命と呼ばれています。モノのインターネットと呼ばれる IoT によって、世の中の産業構造が変わることを指します。AI によるデータ収集や解析技術が進み、人間からの指示が無くても機械が自ら動く「自律化」を目指す試みです。

消費者のニーズが細くなり、多品種少量でも効率的に作ることが求められることに対応する狙いがあり、物流やエネルギー、働き方も含めた社会全体で生産の最適化を図るものです。

シュルツ副社長の説明でも、デジタル化は重要な位置付けと力説され、新しいサービスの提供、効率化、物流の可視化、価値の連鎖、水平展開の

共有を行っているとのことでした。工場において突発の生産停止を防ぐため、大型コンピュータを活用してシミュレーションし、いつメンテナンスを行うか予測されています。

デジタル化の導入で職場において、階級別の仕組み（受け身）を排除し、能動的にお客様の声を取り入れる仕組みに変えている。人材育成についても、デジタル化に対応出来る人材の重要性の説明が印象的であった。

敷地面積：約 320 万 m²（約 97 万坪）、東京ドーム約 68 個分という広い敷地内をバスで案内して頂き、自前の発電所・消防施設や自前の港、構内を走る鉄道や社員用自転車（15,000 台）、工場の横を流れるライン川を常時に洗浄する仕組み等、想像を絶する規模に圧倒される視察でありました。

グローバルに全産業にビジネスを展開する企業であるが、お客様視点で現状の生産・販売に加え、デジタルのサービス・新しい手法をイノベーションしていく姿勢を学ばせて頂きました。

3. 文化・自然

視察において、ドイツの豊かな文化・雄大な自然にも触れる機会を設けた。

ミュンヘンのノイシュバンシュタイン城は、バイエルン王ルートヴィヒ 2 世により 19 世紀に建築され、優美な姿に一同感動しました。

シュツットガルトでは、「カンシュタッター・フォルクスフェスト」と呼ばれる有名なビール祭に参加し、豊富なビールを楽しむことが出来ました。

マインツやハイデンベルグ・ウイスバーデンの市内散策と共に、リュードスハイムからライン川クルーズはあいにく小雨で少し残念でした。

ドイツは技術立国として日本と近い面が多くあることで、様々な現況を見聞して、今後活かすべく、多くを学ぶ貴重な機会となりました。



経営者懇話会（第1回）

人材育成委員会主催（H30.9.12）

平成30年度経営者懇話会第1回目は、大阪市都島区にあります、㈱バーテック 代表取締役社長 末松仁彦様に『働き方改革から働きがいの向上へ』を演題にご講演頂きました。

講演概要は次の通りです。

「当社は、昭和18年創業の工業用ブラシ等の設計開発・製造販売をしている。27歳で社長を引き継ぎ、会社を成長させるには他社にはない製品開発やサービスが必要と考え、全社員で会社の成長を考える『全員参加型の経営』に方向を変えた。経営理念と会社が発展し続ける為の考えをまとめたフィロソフィを作成し、週1回の勉強会や年1回の泊り込みの合宿で、社員と会社の成長ビジョンについて繰り返し考え、自分は何をすべきかを一人ひとり考えてもらっている。当初は仕事に対し目的意識が薄く、やらされ感を持っていた社員が自ら考え行動するようになり、業績が順調に伸びてきた。しかし、会社が成長するにつれて、子育て世代の女性社員が立て続けに退職した。福利厚生を整えるだけではだめだと気づき、社員の負担を軽減する働き方改革に取り組んだ。育児・介護等の為に労働時間を短縮、シフト・在宅勤務等の導入、また、能率改善としてITシステムを導入したことで受注・発送等の事務作業が軽減され、売上増や生産性の向上にも繋がった。社員同志の親睦を深める為に、家族感謝祭や採用内定者も参加する懇親会を開催するなど、全社員が家族・仲間といった職場になっている。全員で会社を経営しているという意識が、自分の仕事に誇りを持ち、自分たちで会社を成長させるという働きがいに繋がっている。当社の取組が2018年日経ビジネス『働きがいのある会社』にランキングされたことを活かし、更に魅力ある会社にしていきたい。」とお話頂きました。



㈱バーテック
代表取締役社長
末松仁彦氏



外国人留学生採用に向けた 産学交流会

（人材育成委員会主催 H30.8.30）

海外の進出・取引の拡大による業務増加に対応するため、外国人留学生の積極的な採用に関して、大学と企業の担当者による交流会を行いました。

基調報告として、厚生労働省の機関で、留学生を含む外国人の就労と、外国人を雇用したい企業を支援しておられる大阪外国人雇用サービスセンターの室長 平井 誠氏から、『外国人留学生の就職の現状と課題』をテーマにご講話を頂きました。

平井室長様からは、「少子高齢化の影響などにより、外国人労働者を雇用する企業が増加すると予想される。そのため、適正な雇用管理への環境整備が必要であり、外国人留学生の就職促進にも繋がる。留学生と企業の双方が情報不足や不安感の払拭を図る為に、今後は日本での就職に係る正しい知識の習得が必要である。」と留学生の採用での留意点をご解説頂きました。

また、事前に実施したアンケート調査の結果報告を参考にしながら意見交換会を実施しました。

企業側からは「留学生の在留資格取得で苦労した経験がある。大学専攻科目による在留資格の許可基準と実際の業務内容がうまくマッチングしないと難しい。」という感想や、「海外工場に勤務してもらう留学生を採用するのに、留学生インターンシップを活用して採用していきたい。」との意見がありました。

大学側からは「企業が求める日本語能力の基準が把握し難い。就職活動前に情報交換ができるような仕組みが必要である。」という要望や、「採用面接における留学生に対する重視する点を伺い、今後の指導に活かしたい。」との意見がありました。

企業の人材確保支援の一環として、今後も引き続き外国人留学生の採用支援を継続して参ります。



大阪外国人雇用サービスセンター

室長
平井 誠氏



【管理者・リーダー養成講座】
管理者の役割とリーダーシップ

人材育成委員会主催 (H30. 9. 5)



(株)山城経営研究所
 顧問
市川邦彦 氏

部下・後輩をけん引して成果を出していく上で、現場の中心となる管理者・リーダーの意識や必要な知識・スキルを高めていくため、全6回テーマごとに「管理者・リーダー養成講座」を設定しました。

初回は管理者・リーダーにとって最も重要な観点である「管理者の役割とリーダーシップ」について、リーダーとしてのあり方を学びました。

講師には、元住友生命(株)財務部長で、現在は経営リーダーの育成に取り組まれている(株)山城経営研究所 顧問 市川邦彦様にご講話を頂きました。

自身のリーダーシップスタイルをよく知ると共に、業績と人への関心のバランスを取り、どうチームをまとめ成果を出すかをご指導頂きました。

管理者として、全体を把握し、先入観にとらわれず、先を読んでいくこと、また、自身の見識・スキルを高め、学んでいくことの重要性について、様々なリーダーの事例をもとにご解説頂きました。

リーダーが創造性を育む職場づくりの例として、アメリカの老人ホームの取組を基に意見交換すると共に、部下・後輩へのリスペクトを基本に、意見に耳を傾け、コミュニケーションを図って信頼関係を築いていくことの重要性を確認しました。

また、アイマスクで目隠しした相手を言葉のみで誘導する演習を行い、相手の行動を予測しながら周囲の状況を的確に伝え、安心感を与える等、言葉でリードする難しさの体験を通して、部下指導の仕方についての難しさと注意点を学びました。

管理者は、常に最悪のシナリオを想定し、豊富な知識と経験を活かして、冷静に正しい判断と決断できる問題解決力を養うことも大事であると、ご自身の経験を踏まえてご解説頂きました。

今後は、人事考課、OJT等の観点で開催します。



ものづくり研究会

人材育成委員会主催 (H30. 9. 11)

ものづくり研究会第1回目は京都府綴喜郡にあります、須河車体(株)様を訪問致しました。

同社は、ボトルカー(清涼飲料水運搬車)・灯油宅配タンクローリー・特殊シャッター・パワーゲート車等の特殊自動車ボディーの研究開発、設計・製造をされておられ、特に日本で初めてボトルカーを製造されたお会社です。

当日は、取締役生産本部長青木勝司様より、企業概要・品質保証のお取組のご解説を頂きました。

「当社は昭和12年創業で、トラックボディーの架装を始め、広告宣伝車、そして現在はボトルカーを主力製品としている。ボトルカーは取扱商品によって一台一台仕様が異なるため、顧客の要望に合わせてきめ細かく仕様・設計を提案し、完全受注生産を行っている。開閉頻度の高い扉は少ない力でスムーズに開閉できるように開発し、配送中の遠心力で商品が外に飛び出さないよう工夫した棚板や、寒冷地で使用される車体には凍結防止剤による錆を防止する塗装を行っている。品質保証では、顧客の要求事項を100%実現するために、独自の規格(公差設定・耐久条件・防錆性能)を設定し、開発・生産・出荷の工程ごとに保証項目を設け、全数品質保証を行っている。今後は、間接業務も含めた全社型の生産性向上と技術開発に取り組む、さらなる高品質・高付加価値な製品づくりを行っていく」とお話頂きました。

工場見学では、原材料の鋼板からプレス加工、溶接・組立等の一貫生産の作業を拝見しました。

また、屋根に載せた空き缶が走行中に落下しないように、自動でネットが掛けられる工夫がされた最新のボトルカーを拝見し、顧客の要望を叶える同社の技術開発力の高さを実感することができた貴重な時間となりました。



須河車体(株)
 取締役生産本部長
青木勝司 氏



生産現場の問題解決

(人材育成委員会主催 H30. 8. 29・9. 20)

働き方改革が叫ばれる中、長時間労働・残業時間の削減は喫緊の課題であり、また労働人口の減少に伴う人手不足が顕著になり慢性化している現状において、業務を見直して改善により効率化し生産性を向上させて行くことは不可欠であります。

この様な状況の中、当会では、会員企業の生産性向上に向け、(独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構(ポリテクセンター)様の委託を受けて、『生産性向上支援訓練』を実施いたしました。



この生産性向上支援訓練では、企業の生産性を向上させるために、「生産・業務プロセスの改善」「横断的課題」「売上の向上」を目的に、課題やニーズに合わせて、具体的な設定テーマごとに訓練を設定して取り組みました。

これまでに実施した訓練は以下の通りです。

- ①生産現場の問題解決(12時間・22名)
- ②品質管理基本(6時間・15名)
- ③成果を上げる業務改善(6時間・15名)
- ④提案型営業手法(6時間・23名)

特に訓練においては、個人やグループの演習に十分な時間を取り、参加者自らが考えると共に、メンバーとの意見交流を通して、座学での知識を一層定着させていけるように取り組みました。

今度も会員企業の抱える課題やニーズに照らし、次の訓練を実施して参りますので、多数のご参加をお待ちしております。

- ⑤品質管理実践 ⑥生産計画と工程管理
- ⑦原価管理とコストダウン



【会社を成長させる人事管理講座】 時代に合った採用・定着支援セミナー

人材育成委員会主催 (H30. 10. 3・10. 12)

新規学卒者の採用では、若年者や時代の傾向を踏まえ、採用活動も更新・対応させていく必要があります。

内定辞退を防止し、内定者のモチベーションを維持させ、入社後も定着させていくことを目的に「時代に合った採用・定着支援セミナー」を開催しました。



SAP
代表
松本 治氏

講師は、当会の新入社員研修や人事管理研究会をはじめ、採用活動支援でご指導を頂いていますSAP 代表 松本 治様にお願ひしました。

学生が求める企業像や意識調査の結果から自社の現状を対比させ、今後の採用活動への活かし方と共に、成果を生み出す価値観を持っているかどうかを徹底的に掘り下げて確認する面接方法など、本人の実力や戦力性を見極める面接の重要性を学びました。

また、内定辞退を防止するために、会社として内定者が自社を選んだ理由や期待していることをしっかりと理解し、内定通知後のフォローを継続的に行っていく必要性を説明いただきました。

内定者のフォローには、「不安を自信に変える」という効果があり、学生のモチベーション維持にも繋げることができ、内定辞退や早期離職の防止に有効であると講義いただきました。

現在、就職活動中の世代は、物事がルールとして明確化されているかを重要視し、特に、仕事とプライベートの線引きを明確に行う傾向にあるので、世代による感覚の違いを良く理解し、それを踏まえた社内改革や選考を行うことで、採用のミスマッチの解消と職場定着に繋がるという重要性を解説頂きました。

若年層の意識や社会の変化に対応した採用活動のあり方が問われる中で、より良い採用や定着に向けて考えるよい機会となりました。



奈良の観光情報まとめサイト

NARABURA



奈良の観光に
役立つ情報を
広く発信！



共同精版印刷株式会社 奈良ぶら事業部 TEL. 0742-33-1221 (担当: 内村)

奈良ぶら

検索



南都銀行 保険共同募集代理店

南都商事株式会社

損害保険・生命保険の総合代理店として、個人・法人を問わずさまざまなリスクに的確に対応します

南都商事

検索

《 本 社 》

〒630-8115
奈良市大宮町 6-2-1
TEL:0742-34-7830
FAX:0742-34-7632

《 橿原支社 》

〒634-0078
橿原市八木町 1-1-1
TEL:0744-29-5726
FAX:0744-29-5708

《 大阪支社 》

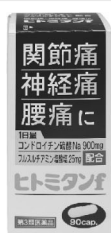
〒542-0076
大阪市中央区難波 4-7-2
TEL:06-4395-5860
FAX:06-6631-2721

応援します。あなたの健康！



VB₁主薬製剤 フルスルチアミン効果で
眼精疲労・腰痛・肩こり・関節痛を和らげます。

アスピタンV100
ビタミンB₁ 100mg
ビタミンE 配合



コンドロイチン効果+フルスルチアミン効果で
眼・肩・腰の神経や関節の痛みを和らげます。

ヒトミタンf
コンドロイチン硫酸Na 900mg
フルスルチアミン塩酸塩25mg 配合

 佐藤薬品工業株式会社

〒634-8567 奈良県橿原市観音寺町9番地の2
Tel 0744-28-0021 Fax 0744-28-0030
http://www.sato-yakuhin.co.jp/

NEED HELP?

商品力 × 人財力で皆様をサポートします！

大光宣伝の交通・屋外媒体保有数は約2,000面。ブランドイメージを高める大型屋上広告から、お客様を店舗へと誘導するロードサインまで、掲出希望場所の調査、設置交渉からご提案致します。また、1級建築施工管理技士、屋外広告士等の有資格者を30名以上有し、お客様を安心サポート。さらに、外部講師を招いた社内勉強会は約30年間、200回以上続けており、社員一人ひとりがお客様のお役に立てるよう、積極的に取り組んでいます。経験豊かで十分な資格やスキルを身につけたスタッフが交通・屋外広告、WEB広告、セールスプロモーションといったコミュニケーションツールに至るまで、幅広く皆様の広告のお手伝いを致します。



大光宣伝株式会社

0120-540-888

大光宣伝

検索



人 事 ・ 労 務 の 勉 強 部 屋（第 23 回）

～女性活躍の推進について～

平成 28 年 4 月より、女性活躍を実現するために女性活躍推進法が施行されています。
女性活躍推進法では、行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が、一定条件の元、事業主（国や地方公共団体、民間企業等）に義務付けられています。
今回は、法律を元に、女性活躍に向けた取組内容・勘所を解説致します。

1. 法律で求められている事項

（常時雇用従業員 300 人以上 ※パート、契約社員等で、1 年以上継続雇用される労働者を含む）

①自社の女性の活躍状況を把握し、課題分析を行う

- ・女性の採用比率
- ・勤続年数の男女差
- ・平均労働・残業時間の状況
- ・女性管理職の比率



②行動計画の策定、労働者への周知、労働局への届出を行う

- ・計画期間
- ・数値目標
- ・取組内容
- ・取組の実施時期



③女性の活躍に関する情報公開

- ・省令で定められている事項のうち、事業主が選択して広く一般的に公表する

2. 実施が望ましい事項

①常時雇用従業員 300 人未満の企業は、行動計画の策定等（上記参照）

②認定制度

- ・行動計画の届出を行い、女性の活躍推進に関する取り組み状況が良好な企業は、厚生労働大臣から「えるぼし」認定を受けることができる。

＜「えるぼし」認定による メリット＞

- *国が行う公共調達の際に加点評価され、有利になる
- *えるぼしマークを自社商品、名刺・パンフレット等で使用することできるので、えるぼし認定取得をアピールでき、企業のイメージアップに繋がる
- *企業イメージアップや働きやすい職場づくりにより、優秀な人材を確保しやすくなる

・「えるぼし」主な認定基準（一部省略）

- *採用における男女別の競争倍率が同程度
- *平均勤続年数が男女間で同程度
- *約 10 年間に採用された新卒採用者で、現在も働いている労働者の割合が男女間で同程度
- *管理職に占める女性割合が、産業ごとの平均値以上 等

3. 女性の活躍を推進するために必要なポイント

○行動計画の策定の有無にかかわらず、女性が継続して活躍していける環境づくりへ、次のような制度や仕組みを整備していくことが大切です。

- ・女性社員がキャリアプランを考えられる仕組み（キャリアセミナー、ロールモデル育成 等）
- ・管理職が女性社員を良く理解し、能力を伸ばすことができる仕組み
(スキルアップセミナーへの参加斡旋、個別面談 等)
- ・出産や育児をサポートする仕組み（短時間勤務、有休の半日取得許可、時間外労働の免除 等）

※詳細は厚生労働省HPをご参照下さい。

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html>)

奈良ロイヤルホテル

《ご宴会》 《ご宿泊》 《ご婚礼》 《天然温泉》

《お食事》
日本料理 竹の家
中国料理 沙山華
レストラン 万葉
ティーラウンジ 扇 滝

近鉄・JR奈良駅より
無料シャトルバス運行

駐車料金無料
駐車場250台・大型バス8台
完備



様々なシーンでご利用ください
ご予約承り中!

〒630-8001 奈良市法華寺町254-1 TEL.0742-34-1131(代)
http://www.nara-royal.co.jp

季節を愉しむ 櫃屋 「ひつや」

料理長の心を込めた逸品料理をお楽しみ下さい。
懐石料理や炭火焼き、洋食もビュッフェでご提供いたします。
お仕事のお帰りにゆったりお過ごしいただけるお席から、
4名〜12名様個室、60名様のご宴会にもご利用ください。



〒630-8226
奈良市小西町 23 番地
株式会社花小路
櫃屋予約 0742-23-9551

創業明治7年 お客様の課題解決パートナー



株式会社 明新社

www.meishin.co.jp



奈良の地で
印刷を軸とした様々な
コミュニケーションツールを
創造しています。

奈良ひとまち百景より
餅飯殿センター街入り口
奈良の風景・街並みをイラストにし、地元の
方々がより親しみを持って奈良を発信する
ことを目的としています。

〒630-8141
奈良市南京終町3丁目464番地 TEL 0742-63-0661 (代表)

お客様とともに70周年
70TH
ANNIVERSARY

野村證券株式会社 奈良支店

〒630-8227 奈良市林小路町45番地
電話0742(22)0351 (代表)

心と技術で明日を築く 村本建設株式会社

代表取締役社長 村本 吉弘

執行役員 高田 幸伸
奈良本店長

大阪本社 〒543-0002 大阪市天王寺区上汐4-5-26 TEL:06-6772-8201
奈良本店 〒635-0822 北葛城郡広陵町大字平尾11-1 TEL:0745-55-1151
奈良営業所 〒630-8241 奈良市高天町43-1
REBANGA近鉄奈良駅高天町ビル301 TEL:0742-27-8011

本支店：東北・東京・横浜・千葉・名古屋・大阪・奈良・中国・九州



人、まち、環境。
創って育てる
村本です。

THOR

家族みんなで一緒に。
これが噂のトールサイズ!!

5人乗り
1,000cc



Light y@u up
DAIHATSU

奈良ダイハツ株式会社

愛車の点検整備は、しっかりと!

奈良店	奈良市南京終町2-275	TEL (0742) 62-0777
登美ヶ丘店	奈良市中登美ヶ丘3-13-1	TEL (0742) 44-1150
三条大路店	奈良市三条大路4-2-12	TEL (0742) 94-7890
橿原曲川店	橿原市曾我町35	TEL (0744) 23-1381
橿原耳成店	橿原市常盤町270	TEL (0744) 25-1900
香芝店	香芝市高150-3	TEL (0745) 76-7211
生駒店	生駒市東松ヶ丘17-17	TEL (0743) 74-2176
郡山店	大和郡山市筒井町531-7	TEL (0743) 84-7700
U-CAR登美ヶ丘	奈良市中登美ヶ丘5-13-1	TEL (0742) 81-7211

事務局だより

平成 30 年秋季親睦ゴルフ大会

総務委員会主催 (H30. 10. 16)

10 月 16 日 (火)、毎年恒例の秋季ゴルフ大会を、シプレカントリークラブで 45 名の参加を得て開催しました。当日は天候に恵まれ、多数の方にご参加頂き、大変感謝致しております。

今回の優勝は、(株)ゼロステーション 代表取締役 高 剛史様で、グロス 88 (43・45) ネット 71.2 と好成績なスコアでの優勝となりました。

上位の方々は以下の通りです。

- ・優勝 高 剛史 (株)ゼロステーション
- ・準優勝 黒川 健 (株)黒川本家
- ・第 3 位 飯塚 靖 (株)飯塚製作所



(株)ゼロステーション
代表取締役
高 剛史 氏
(写真左)

ＯＪＴと部下育成の進め方

管理者・リーダーに求められる役割の中で、ＯＪＴを含めた部下育成は最も重要な役割の 1 つです。部下・後輩へ、わかり易い指導を図るため、教える力を高めて、やる気を引き出す指導へつなげると共に、従来のＯＪＴのやり方を見直して、年代が多岐に亘る現場のコミュニケーションを深めることが重要です。

ＯＪＴと部下育成の向上へ、管理者・リーダーの方の人材育成・能力開発にご活用ください。

記

日 時：平成 30 年 12 月 6 日 (木)

13：00 ～ 17：00

場 所：奈良県産業振興総合センター
2 F 拠点研修室

参加費：5,400 円 / 1 名

(消費税・テキスト代含)

申 込：事務局までご連絡ください

新 入 会 員 様 ご 紹 介

株式会社 M . T . C



【概 要】

創 業：昭和 43 年 7 月

設 立：平成 16 年 4 月

資 本 金：500 万円

代 表 者：代表取締役

森 久 次

所 在 地：〒 635-0076

大和高田市大字大谷 122 番地

T E L：0745-22-1410

F A X：0745-22-2495

U R L：<http://www.mtc-nara.co.jp>

従 業 員：28 名

事業内容：金属製品製造業

弊社は、昭和 43 年の創業以来 50 年の間、住設用建材、鋼製家具、自動車関連などの大手メーカーに対しプレス、板金等の部品の供給を行っている。

競合他社との差別化を図る為、「提案を活かしたものづくり」というテーマを掲げ営業活動を行っている。現在、奈良県大和高田市大谷町にて、本社プレス工場・板金工場・大谷工場の 3 拠点を稼働させ、弊社が目指す「一貫生産体制」によるものづくりを目指している。

代 表 者 変 更

☆日本通運株式会社 奈良支店

(旧) 大辻 宏紀 (支店長)



(新) 柳澤 通 (支店長)

～ 事務局からの願い ～

- ・代表者様変更
- ・代表者様役職変更
- ・住所及び電話・FAX 番号

変更等がございましたら、事務局までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

奈良経済産業協会NEWS 第37号

平成30年11月発行

一般社団法人 奈良経済産業協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内
TEL(0742)36-7370 FAX(0742)36-7371
<http://www.nara-eia.or.jp> E-mail : info@nara-eia.or.jp